

## 感染症発生動向調査情報(週報)

2013年39週(09月23日～09月29日)

### ○ 山梨県内流行情報

第39週の手足口病は、山梨県内の定点当りの報告数が2.04となりました。峡東保健所管内では定点当たり1.5となり、定点当たり1.0となったため、先週の中北保健所管内に続き警報レベルは解除となるなど、県内全域での流行は治まりつつあると考えられますが、警報終了の目安である2.0を下回るまでは引き続き注意が必要です。また、RS ウイルス感染症については、今週も中北保健所管内で8件報告がありました。全国で発生が増加傾向にあるRS ウイルス感染症は、初めて感染発症した場合は重症化しやすいといわれており、特に乳児期早期(生後数週間～数カ月間)に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるため、今後の発生動向に注意が必要です。今週は、このほかの感染症については大きな動向の変化はありませんが、朝晩涼しく過ごしやすい気候となり、また、イベントや旅行などで活動や交流の機会が増える時期でもあります。インフルエンザや胃腸炎などが流行するシーズンを迎える前に、改めて家族全員で手洗い・うがいの励行とともに、バランスのとれた食事や十分な休養を心がけるなど、体調の管理に留意しましょう。【今週の警報】:手足口病(※定点あたり5.0以上で警報、2.0を下回ると解除)中北保健所峡北支所管内[2.0]富士・東部保健所管内[4.0]【今週の注意報】:なし

### ○ 富士・東部管内流行情報

今後も引き続き手洗い・うがいを励行し、家族全員で感染予防に努めましょう。

### ○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	119	0.02	2962	0.94	928	0.29	2273	0.72	8257	2.62	1381	0.44
山梨県	-	-	8	0.33	1	0.04	16	0.67	43	1.79	2	0.08
中北	-	-	8	1	1	0.13	1	0.13	32	4	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	8	1.6	7	1.4	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	3	0.75	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	4	0.8	1	0.2	2	0.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5899	1.87	127	0.04	1495	0.48	36	0.01	1261	0.4	712	0.23
山梨県	49	2.04	1	0.04	9	0.38	-	-	5	0.21	4	0.17
中北	12	1.5	-	-	4	0.5	-	-	4	0.5	2	0.25
中北峡北	10	2	1	0.2	1	0.2	-	-	-	-	1	0.2
峡東	6	1.5	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-
峡南	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	20	4	-	-	4	0.8	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	414	0.61	9	0.02	29	0.06	152	0.33	10	0.02
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

## ○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	39週		38週		37週		36週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	やや増加しています	たいへん流行しています	0.33	8	0.25	6	0.08	2	—	—
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	0.42	10	0.17	4
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや増加しています	平年並みです	0.67	16	0.42	10	0.42	10	0.71	17
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	1.79	43	2.17	52	2	48	1.75	42
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.08	2	0.13	3	0.17	4	0.38	9
手足口病	減少しています	たいへん流行しています	2.04	49	2.29	55	4.42	106	4.08	98
伝染性紅斑	—	—	0.04	1	—	—	—	—	0.17	4
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.38	9	0.5	12	0.42	10	0.33	8
百日咳	—	—	—	—	—	—	0.04	1	—	—
ヘルパンギーナ	やや減少しています	平年並みです	0.21	5	0.33	8	0.75	18	0.58	14
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.17	4	0.08	2	0.29	7
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.22	2	0.11	1	0.11	1
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	1
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

## ○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	アメーバ赤痢	富士・東部	男	41
五類感染症	後天性免疫不全症候群	富士・東部	男	48